

プロジェクト2024の一コマ



プロジェクト2005の一コマ



15カ月続いたガザ戦争 停戦しても変わらない対立の厳しさ 平和の担い手を育てることが必要です

被爆・終戦から80年となる年に、3カ国の若者が交流「平和の架け橋」プロジェクト2025

ガザ停戦は実現しましたが、イスラエルとパレスチナの相互不信は根強く、和平を語ることに難しい状況です。しかし昨年、戦争が続いている中で双方の若者を招き、交流を果たしました。厳しい情勢だからこそ市民の交流が必要です。今年も被爆地長崎の皆さまのご協力を得て、紛争当事者間の信頼の醸成を試みます。

**対立を乗り越え、対話へ。
共生への道を探る
若者たちを応援してください！**

攻撃と空爆などによる死傷や家屋の破壊。互いに犠牲を強いられ、憎悪を向け合う紛争当時国の若者が、唯一の戦争被爆国日本で、戦争の悲惨さを改めて知り、互いの経験に耳を傾ける。「平和の架け橋プロジェクト」は、参加者それぞれが和解の困難さを乗り越えて他者の痛みにも共感し、共生の道を探ることを目指します。

プロジェクトの概要 細部は計画中

日程

2025年 8月3日(日)～16日(土)【14日間】

プログラム

第1部 長崎・田平で

共同作業、人々との交わり、美しい自然の中で友情と信頼を育む。互いを受け入れ、共生の喜びを分かち合う。

第2部 長崎市内で「戦争」と「平和」の学び

平和祈念式典参加、原爆資料館見学、被爆体験を聞く。市民・若者との対話、慰霊のためのパイプオルガンコンサート。

第3部 東京・JICA(予定) 対話を通して「平和への道」を探る
高校生、大学生、一般市民を対象にシンポジウム、対話集会などで、平和のメッセージを発信する。

プロジェクト総費用(目標額)・・・640万円

プロジェクトには多額の費用がかかります。参加者には一定の負担を求め、チャリティーイベントなども行いますが、昨今の円安・物価高騰もあり、**資金は不足しています。**

支援をお願いします！ 募集期間 2025年2月～8月

各種クレジットカード、
金融機関からの
振り込みをご希望の方は
QRコードで。



右の払込取扱票をご利用ください
郵便振替：NPO法人聖地のこどもを支える会
00180-4-88173

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますの
で、金額を記入する際は、枠内に
はつきりと記入してください。また、
本票を汚したり、折り曲げたりしな
いでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵
便局の払込機能付きATMでもご利
用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は
郵便局の渉外員にお預けになるとき
は、引換えに預り証を必ずお受け取
りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依
頼人が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただいたま
した払込書に記載されたおとこと、
おなまえ等は、加入者様に通知され
ます。
- ・この受領証は、払込みの証拠とな
るものですから大切に保管してくだ
さい。



この場所には、何も記載しないでください。